

令和3年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 5 0）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1 自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3 情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価（2月1日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着し、現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えている。 【課題】 システムは定着したが、次の課題への取組が必要である。 ①中長期的計画の構築 ②生徒の入学時の進路希望と卒業時の進路結果とのギャップを埋めるキャリア教育の構築 ③新学習指導要領移行への準備	授業力向上による確かな学力の向上	・授業力向上研修等の充実 ・ICT教育環境の構築 ・3観点評価への研修と実践 ・生徒・保護者アンケートの改善と実施 ・「南高2030プラン」の構築	・授業力向上研修会を年3回以上実施 ・ICT教育環境の整備状況 ・観点別評価の研修会の実施 ・生徒・保護者へのアンケート調査内容の改善と具体的な取組状況 ・「南高2030プラン」の具現化ができたか。	・授業力向上研修会は未実施。 ■ICT活用度…生徒98.5%(-2.9)保護者88.6%(+3.1) ・観点別評価研修会を10月7日に前県教委指導主事を講師にして実施。 ・生徒保護者アンケート2回実施 ■学校満足度…生徒90.4%(+0.4)保護者91.5%(+3.1) ■学力向上満足度…生徒87.9%(-0.7)保護者91.5%(+3.1) ■授業への意欲度…生徒92.5%(-0.3)保護者84.0%(-1.6)	B	令和4年度からの新学習指導要領への移行を踏まえ、ICT教育環境の整備や観点別評価への取組は概ね順調に取り組めた。また、今年度は生徒による授業評価も導入した。次年度は、組織的に授業評価に基づく授業改善に取り組む。
		着実なキャリア教育の推進と進路実現に向けた計画的な取組	・多角的なキャリア教育の立案と実施 ・生徒・保護者向け大学進学情報提供の充実 ・英語資格試験の合格率の向上 ・大学入学共通テストへの啓発 ・学習支援サービスの効果的な活用	・キャリア教育計画の立案と実行 ・生徒・保護者向け大学進学情報提供回数 ・模試分析会の回数と共有状況 ・英検準2級以上の合格率9割 ・大学入学共通テスト受験者9割 ・学習支援クラウドサービスの利用状況と効果的な活用	・進路指導部が「進路通信」毎月発行(新規) ■進路指導満足度…生徒87.6%(+5.2)保護者88.7%(+9.5) ・模試ごとに進路指導部が分析して学年共有 ・英検は2月1日現在未調査。3年次の英検準2級合格率(7月末現在)80.3% ・共通テスト受験率は85.0% ■学習支援クラウド有効活用…生徒38.8%保護者53.5% ■ハイブリッド授業の非有効性…保護者12.0%	B	進路指導部による組織的なサポートが定着し、生徒・保護者に安心感を与えた。コロナ禍におけるハイブリッド授業は評価が高かった。次年度は、進路指導部を新たに「進路支援部」とし、キャリア教育と進路サポートを一体とした取組につなげたい。
2	【現状】 生徒の学校行事に意欲度は90.2%、部活動が盛んである意識度99.5%と高い。多様な探究プログラムの取組が定着してきているが、コロナ禍で大きな制約が生じている。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を踏まえ、安心安全な教育活動、部活動に取り組む必要がある。また、多様な探究プログラムがあるが、コロナ禍で制約もあり、総合的な探究の時間等と連動させながら再構築する必要がある。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	・SDGsを活用した「総合的な探究の時間」の実践 ・コロナ禍における探究プログラムの一層の充実 ・生徒の主体性を引き出す学校行事の取組	・「総合的な探究の時間」の実践回数と生徒の意識向上 ・探究プログラムへの参加生徒数 ・コロナ禍において生徒の主体性を生かした体育祭・文化祭等の学校行事が実施できたか。	・総採実施回数21回 ■体験的な学び満足度…生徒81.0%(+8.1)保護者72.6%(+17.1) ・社会探検工房は1月6日実施(14名参加) ・体育祭(5/28)文化祭(9/10)修学旅行(11月)実施 ■学校行事満足度…生徒90.0%(+5.6)保護者91.3%(+2.5) ■修学旅行満足度…生徒90.3%保護者99.6%	A	生徒が主体的に取り組める学校行事を感染防止対策を徹底して実施でき、生徒・保護者の満足度は高かった。次年度は、学校行事とともに探究プログラムの充実に取り組むたい。
		部活動の充実と安心安全の確保	・生徒の主体性を引き出し達成感を感じさせる部活動の取組 ・スポーツ・アーツ・STEAM教育によるSTEAMs教育と生徒の非認知能力伸長への取組	・生徒の部活動への加入率と満足度 ・スポーツ・アーツ・STEAM教育への登録者数と活用方法 ・従来の安全教育と共に、新型コロナウイルス感染拡大防止へ具体的に取り組んでいるか。	・部活動加入率90.4% ■部活動活発度…生徒99.4%(+1.7)保護者97.1%(-0.6) ■Ai-GROW登録率82.0%	A	スポーツを科学する生徒の育成事業では、非認知能力の伸長の確認と大会実績を残すことができた。次年度は、生徒の主体性を引き出し、達成感を感じる取組にできるかが課題である。
3	【現状】 地域社会と連携したコミュニティ・スクールとして情報発信に努めてきたが、コロナ禍により活動が大きく制約されている。 【課題】 本校教育活動への理解をさらに深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進と情報発信が求められる。	コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくり	・近隣小中学校、辻地区、さいたま市及び南区との連携推進 ・学校運営協議会との連携・協働の充実	・地域との連携方法と回数 ・学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働を行うことができたか。	・学校施設開放回数…延べ205回 ・おもしろサマースクール(7月)、虹色チャレンジスクール(10月、1月)学習ボランティア(10月)、ふれあいコンサート(12月)を開催 ・学校運営協議会は、①6/15 ②10/11 ③2/8 に感染防止対策を徹底して対面で開催	B	感染防止対策をしながら学校運営協議会を3回とも対面で開催することができ、熟議が深まった。次年度は、「地域貢献」をテーマにコロナ禍における地域連携に取り組むたい。
		積極的な情報発信	・コロナ禍における安心安全で計画的な学校広報活動 ・学校HPの更新や新たな学校情報発信	・学校広報活動の内容と回数 ・学校HP更新回数 ・文書、メール配信回数	・学校説明会は6回(前年度比2回増)で、約3千人が参加。 ・11月に学校HPを全面的に改訂し、週休日を除いて毎日学校情報を発信できた。 ・学校専用メールepaで学校運営に関する保護者向け文書16回送信し、学校HPにも掲載 ■HP・メール確認度…生徒93.0%保護者88.0%	A	学校HPの全面リニューアル等による情報発信により、生徒・保護者に周知できた。次年度は、学校HPや学校説明会において、中学生と保護者のニーズを的確に把握し、改善したい。

学校関係者評価	
実施日	令和4年月日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続き、ウィズコロナの中でのICT教育環境のさらなる充実と情報発信の工夫を期待している。 ・授業アンケートの実施と共に学校満足度が生徒保護者共に90%を超えていることは評価できる。 ・大学進学という生徒の進路実現のために、授業進度や授業内容について改善にむけて研究を進めてもらいたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部が組織的に運営され更に次年度に進路支援部と名称変更し、キャリアサポートの視点で生徒の進路実現を実施していくこと及び進路実績も上向きであることは評価できる。 ・ハイブリッド授業もウィズコロナの時代に有効であり、満足度の高いことはこれからの新しい授業の在り方の一つとして充実させて欲しい。 ・年次全体が一堂に会することのできるスペースや選択教室の充実など学習空間の創造という施設改善を要望する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染防止対策を徹底し、非公開ながらも体育祭、文化祭などの学校行事を実施したことはよかった。 ・早期に国内に研修旅行先を切り替え実施できたことは生徒保護者の満足度を見ても評価できる。 ・新年度においても生徒のためにアイデアをもって実施して欲しい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動も制約がある中であるが全国大会、関東大会、県大会上位など実績を残したことは素晴らしい。 ・部活動などの特色を生かすために施設改善、南区の教育資産としての施設改修を期待している。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてできる限りの地域連携事業が実施できたと思われる。 ・小・中・高が近接しているという地の利を生かした連携の在り方の工夫を期待する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPの更新頻度を含め、情報発信が適切になされていると考えられる。 ・保護者が学校に足を踏み込められない状況が続くことも考えられる。学校の情報発信について更に工夫を心掛けてほしい。 	